

逢初川土石流災害対策検討委員会 設置趣意書

令和3年7月3日午前10時30分頃に熱海市伊豆山の「逢初川（あいぞめがわ）」で発生した土石流は、上流部で発生した崩壊により大量の土砂が、熱海市特有の勾配が急な溪流を一気に流れ下ったことから、流下土砂が流路から溢れ、下流人家に流れ込み、多数の死者・行方不明者が生じるなど未曾有の災害となった。

現在、溪流内には多量の不安定土砂が堆積しており、今後の降雨によって再び土石流の発生が懸念される状況下で、昼夜を通した行方不明者の捜索や道路啓開等の復旧作業が行われており、作業員の安全確保のため、早急に仮設堰堤の設置等による応急安全対策を実施する必要がある。

このため、標記委員会を設置し、今後発生が懸念される土石流に対して、迅速な応急安全対策や仮復旧を検討するものである。

なお、当委員会は、今後、作業の進捗に伴い生じる検討事項についても、適宜、技術的助言を行うことができる。